

19 教育資料委員会

一 テーマ

- ・小県上田教育会が所有している教育関係資料等を件名目録として整理し、データ化して保存する。
- ・それらの有効な活用方法を検討するとともに、公開の準備をしていく。

二 テーマ設定の理由

小県教育会には膨大な教育関係資料・史料が保存されている。しかし、検索の機能を整備していないため、次世代の研究者が利用できない状況が続いている。

本委員会では長年教科書の保存と活用を図ってきたが、それよりも明治～大正に至る郡役所の書類など、貴重な資料が存在するので、この資料（史料）の有効活用を可能にするため、件名目録をデータ化し、さらに会員の授業研究や次世代研究者の研究に活用できるよう、件名目録などを公開したいと考え、このテーマを設定した。

三 研究の経過

- | | | |
|---------|-----------|---|
| 第1回 | 5月 2日（火） | 令和5年度 委員会発足会と今年度の方向の決定 |
| 第2回 | 6月22日（木） | 今年度の活動方針に基づいた作業 ① |
| 第3・4・5回 | 8月18日（金） | 今年度の活動方針に基づいた作業②・③・④ |
| 第6回 | 10月 3日（火） | 今年度の活動方針に基づいた作業⑤ |
| | 10月26日（木） | 信濃教育会より三氏来訪。本委員会の活動内容を視察
顧問 伊藤 純郎 様（筑波大学名誉教授）
部長 清水 恒善 様
学芸員 岩下 寿恵 様 |
| 第7回 | 11月27日（月） | 今年度の活動のまとめと来年度の展望の話し合い |



四 研究の内容

- 1 上小教育会館第2資料室に所蔵されている「学務雑件編冊」の件名目録を検索しやすい形に整える。
- 2 これまで保存されてきた過去のデータを統一した形式で保存・管理する。
- 3 データ化した資料を上小教育会ホームページに掲載できるようにする。
- 4 すぐに授業に利用できるような資料を発見できた場合は、なるべく早く公開できるようにしていく。

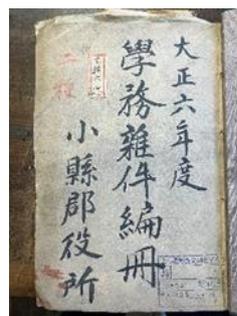
五 研究のまとめと課題

成 果

- 1 「学務雑件編冊」の件名目録を検索しやすい形に整える。
- 2 これまで研究・保存されてきた過去のデータを統一した形式で保存・管理する。

→上記の2項目については、検索のしやすいデータ形式を模索中ではあるが、下記の冊子の件名目録を統一された形式でExcelファイルに入力が完了した。

- ①明治28～35年 ②明治35～40年
- ③明治40～45年 ④大正元年～ 7年
- ⑤大正3年～4年（以上 前年度までの研究の成果）
- ⑥大正5年分までの作業の続きと大正6年のデータ化（本年度の成果）



- 3 データ化した資料を上小教育会HPに掲載できるようにする。
→上記データをHPに掲載できるよう、簡易な件名目録をPDF化した。

事務局に来れば紙媒体の一覧表やExcelデータで検索できるようにした。

- 4 すぐに授業に利用できるような資料を発見できた場合は、なるべく早く公開できるようにしていく。

→上田藩の藩校明倫堂を生かした「旧文武学校建家畧圖」のほか「常入分教場」「常磐城分教場」「鍛冶町派出所」の図を写真で撮り、公開の準備をした。

- 上記の活動を、夏休みの1日（半日 3回分）を使って大正5年の「学務雑件編冊」件名目録を仕上げ、9・11月の2回までに大正6年分も完成させることができた。
- 古文書の文字に慣れない委員が多い中、協力して作業を進めることができた。
- そのような中で、上田藩明倫堂（藩校）の建物を利用した当時の上田尋常小学校や、分校の平面図を見つけることができた。また、満州開拓団に向けてオルガンなどを寄付したことに対する感謝状など日々の授業に生かせそうな資料も、少しではあるが、見つけることができた。
- 信濃教育会信濃教育博物館のアドバイザー伊藤純郎先生や清水恒善部長・岩下寿恵学芸員に訪問していただき、今後の保存・活用の方法について示唆をいただくことができた。

課 題

- 古文書を読める委員を増員したり、退職された古文書を読める会員にご協力をお願いしたりして、収蔵されている資料・史料の整理を進め、早めに教材化できるといい。
- 今年度の委員会活動は、1時間×7回で実施したが、データ化を急ぐならもう少し回数を多くしたい。または、リモートでの解読作業などもできるようにして作業時間の確保ができるといい。

信濃教育会 清水 恒善部長先生からのお手紙より

「記録・資料」から「アーカイブ」としての位置づけへ

上小教育会 教育資料委員会に学ぶ

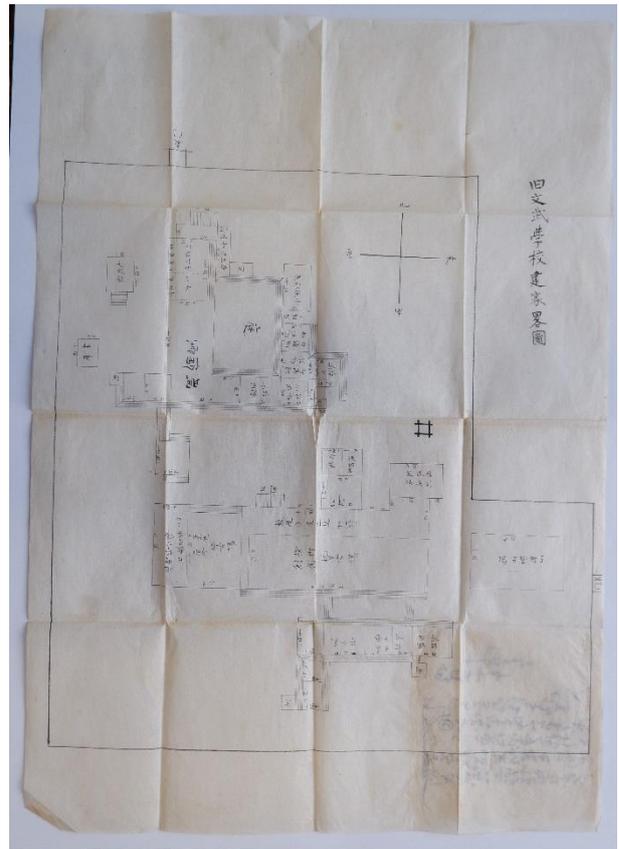
上小教育会では大正期の教育を物語る資料「学務雑件編冊」の「件名目録」作成に取り組まれているということをお聞きし、上小教育会館に、橋詰文彦教育会長、教育資料委員会の中野裕顕校長、水野哲委員長を訪ねました。貴重な資料が大量に残されていたこと、さらには年度ごとに綴ってあったものが上小教育会により昭和期にハードカバーで再製本されていたことにも驚かされました。

当時の役人が記した手書きの索引を丁寧にテキストに起こしデジタル化していく作業は、旧字体、変体仮名に加えずし字も多く解読に苦心されたようです。これによりどんな内容の文書がどこにあるか一目瞭然となり、一群の古い資料がアーカイブとして命を吹き込まれた思いが致しました。特に教員の研修に関わる文書が多いということからは大正期の信州教育の充実ぶりが伺えます。

アーカイブとして過去を尋ねる道を拓くことの意味はとても大きいように感じます。長野県の教師である私を私たらしめている過去の記録は、私自身を探っていくことでもあり、過去の教師の熱い思いや優れた実践、地域の期待に触れることは私の未来を創ることにもつながるのではないかと思います、上小教育会館を後にしました。

(参考 「上田・小県」第214号 (R5,7,14 発行))

分類番号	件名	年月日	備考
1	上田男子校員岡山浦政外四十八人年功加給年金ノ件		
2	半学年施設費ノ所定不収者率由頭ノ件		
3	小学校敷借二箇スル件		
4	青年員林頭ノ件		
5	読字奨励会補助金ノ件 奥埴田		
6	六一ノ会上ノ件 埴田		
6-2			
7	会上ノ件 埴田		
8	会上ノ件 武石		
9	会上ノ件 林本		
10	会上ノ件 本原		
11	会上ノ件 西岡		
12	日誌競争ノ取組ノ件 上野原町ノ件		
13	小学校教員林頭、理科、算数科員二箇ノ件		
14	上田女子校員等若原静江外二人員ノ件		
15	小学校演習区外長編距離ノ件		
16	元澤里小学校取組取組(進・修)干肥舎元頭ノ件		
17	上田女子小学校校舎建設ノ件		
18	奥集補習学校調査年次ノ件		
19	奥集補習学校校立頭ノ件		
20	新設奥集市立府縣、新設土岐寄外語学校入學上ノ取組者頭ノ件		
21	元澤里小学校取組取組(進・修)干肥舎元頭ノ件		
22	松本女子師範学校入學建設ノ件		
23	読字奨励会員申 加沢青年員		
24	奥集補習学校二箇スル課費補助ノ件		



Excel データ化した「大正6年「学務雑件編冊」 小県郡役所」

旧文武学校（明倫堂）建家畧圖